

平成21年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社テレビ朝日

コード番号 9409 URL <http://www.tv-asahi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 早河 洋

問合せ先責任者 (役職名) 経理局長

(氏名) 森岡 信夫

TEL (03)6406-1111

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

平成21年12月10日

(百万円未満切捨)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	112,537	△10.1	1,788	△35.4	2,935	△25.1	1,095	△16.8
21年3月期第2四半期	125,140	—	2,770	—	3,921	—	1,316	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	1,090.53	—
21年3月期第2四半期	1,310.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	296,888	237,790	78.4	231,756.04
21年3月期	300,311	236,150	77.2	230,913.34

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 232,779百万円 21年3月期 231,933百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	1,000.00	—	2,000.00	3,000.00
22年3月期	—	1,000.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	1,000.00	2,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	226,200	△8.5	3,700	83.6	5,500	59.7	3,400	—	3,385.05

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 1,006,000株 21年3月期 1,006,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 1,582株 21年3月期 1,582株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 1,004,418株 21年3月期第2四半期 1,004,418株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、環境の変化により異なる結果となる場合があります。業績予想の前提につきましては4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の日本経済は、輸出、生産や個人消費に持ち直しの動きが出てきたものの、企業収益と設備投資の大幅な減少が続いており、雇用情勢の悪化など、引き続き厳しい状況にあります。

広告業界におきましては、東京地区のスポット広告の出稿量が前年同期を下回る水準で推移するなど、厳しい状況となりました。

このような経済状況のなか、当社グループは、テレビ放送事業はもとより、音楽出版事業やその他事業においても収益確保に努めましたが、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,125億3千7百万円で、前年同期比126億2百万円(△10.1%)の減収となり、売上原価、販売費及び一般管理費の合計は前年同期比116億2千1百万円(△9.5%)減の1,107億4千8百万円となりました結果、営業利益は17億8千8百万円で、前年同期比9億8千1百万円(△35.4%)の減益となりました。

また、経常利益は29億3千5百万円で、前年同期比9億8千5百万円(△25.1%)の減益、四半期純利益も10億9千5百万円で、前年同期比2億2千1百万円(△16.8%)の減益となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

①テレビ放送事業

タイム収入は、スポンサーの固定費削減傾向が拡大したため、4月改編セールスで苦戦を強いられ、レギュラー番組のセールスが大幅な減収となりました。単発番組では、「世界水泳ローマ2009」「世界フィギュアスケート国別対抗戦2009」、「2010FIFAワールドカップ™ アジア地区最終予選」3試合、ドラマスペシャル「刑事一代」などがありましたが、前年同期の「北京オリンピック2008」の反動減などにより、タイム収入合計は413億6千7百万円となり、前年同期比66億7千3百万円(△13.9%)の減収となりました。

スポット収入は、業種別で、「卸売」「薬品」は好調に推移したものの、「サービス・娯楽」「電気機器」「輸送機器」をはじめとするほとんどの業種が低迷したため、394億9千1百万円となり、前年同期比45億4千8百万円(△10.3%)の減収となりました。

また、番組販売収入は、前年同期比3千4百万円(△0.6%)減の61億3千6百万円、その他収入は前年同期比5千8百万円(+0.6%)増の96億8千万円となりました。

以上の結果、テレビ放送事業の売上高は966億7千5百万円で、前年同期比111億9千8百万円(△10.4%)の減収となり、営業費用は前年同期比107億7千2百万円(△10.0%)減の968億円となりました結果、1億2千4百万円の営業損失となりました。

②音楽出版事業

“湘南乃風”のアルバム「JOKER」やコンサートツアーなどが好調に推移したものの、前年同期に“ケツメイシ”“HY”のアルバムやコンサートツアーがあったことなどから、音楽出版事業の売上高は34億6千6百万円で、前年同期比23億9千2百万円(△40.8%)の減収となりました。また、営業費用は前年同期比16億7千万円(△35.3%)減の30億6千3百万円となりまし

た結果、営業利益は4億3百万円で、前年同期比7億2千2百万円(△64.1%)の減益となりました。

③その他事業

「ちい散歩」内の通信販売コーナーが好調に推移したショッピング事業、「国宝 阿修羅展」が記録的な入場者数となったイベント事業、携帯電話向け会員制有料情報サービスの「テレ朝コンプリート!」「テレ朝サウンド」が堅調なインターネット事業や、バラエティ番組「アメトーク」ほかのDVD化事業が好調に推移したことなどにより、その他事業の売上高は前年同期比6億9千9百万円(+4.3%)増の168億5千万円となりました。また、営業費用は前年同期比5億5千5百万円(+3.8%)増の153億2千1百万円となりました結果、営業利益は15億2千9百万円で、前年同期比1億4千3百万円(+10.3%)の増益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比34億2千2百万円減の2,968億8千8百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が47億4千7百万円減少したことなどによります。

負債は、支払手形及び買掛金が30億2千7百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比50億6千2百万円減の590億9千8百万円となりました。また、純資産はその他有価証券評価差額金が17億2千5百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比16億3千9百万円増の2,377億9千万円となりました。この結果、自己資本比率は78.4%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの収入に大きな影響を及ぼすテレビ広告市場は、前年同期を下回る水準で推移しており、大変厳しい状況が続くものと考えられます。

当社グループは、テレビ放送事業のみならず、音楽出版事業、その他事業についても売上拡大に継続的に注力し、また、営業費用についても引き続き徹底したコストコントロールを行うため、通期の連結業績予想につきましては、平成21年10月6日に公表いたしました数値を変更しておりません。また、通期の個別業績予想につきましても、同日公表の数値を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

1. たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の商品等のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、商品等の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

1. 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,487	11,594
受取手形及び売掛金	56,760	61,508
有価証券	42,738	39,026
たな卸資産	9,697	11,019
その他	9,133	9,441
貸倒引当金	△77	△89
流動資産合計	130,739	132,500
固定資産		
有形固定資産	67,565	69,544
無形固定資産		
その他	5,378	5,634
無形固定資産合計	5,378	5,634
投資その他の資産		
投資有価証券	74,582	74,578
その他	18,930	18,401
貸倒引当金	△308	△347
投資その他の資産合計	93,204	92,631
固定資産合計	166,148	167,810
資産合計	296,888	300,311
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,833	15,860
未払法人税等	1,302	743
役員賞与引当金	46	107
その他	29,777	32,779
流動負債合計	43,960	49,490
固定負債		
退職給付引当金	13,305	13,221
役員退職慰労引当金	517	301
その他	1,315	1,145
固定負債合計	15,137	14,669
負債合計	59,098	64,160

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,642	36,642
資本剰余金	55,342	55,342
利益剰余金	141,812	142,729
自己株式	△321	△321
株主資本合計	233,477	234,393
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△568	△2,293
繰延ヘッジ損益	△13	△23
為替換算調整勘定	△115	△143
評価・換算差額等合計	△697	△2,460
少数株主持分	5,010	4,217
純資産合計	237,790	236,150
負債純資産合計	296,888	300,311

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	125,140	112,537
売上原価	93,960	85,572
売上総利益	31,179	26,964
販売費及び一般管理費	28,409	25,175
営業利益	2,770	1,788
営業外収益		
受取利息	324	102
受取配当金	397	417
持分法による投資利益	372	314
その他	178	424
営業外収益合計	1,272	1,258
営業外費用		
固定資産廃棄損	92	95
その他	28	15
営業外費用合計	121	111
経常利益	3,921	2,935
特別損失		
投資有価証券評価損	1,166	—
特別損失合計	1,166	—
税金等調整前四半期純利益	2,755	2,935
法人税等	1,213	1,367
少数株主利益	225	472
四半期純利益	1,316	1,095

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	テレビ放送事業	音楽出版事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	106,321	5,773	13,044	125,140	—	125,140
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,552	86	3,106	4,745	(4,745)	—
計	107,874	5,859	16,151	129,885	(4,745)	125,140
営業利益	301	1,125	1,385	2,813	(43)	2,770

(注)1. 事業区分は売上集計区分によっております。

2. 各事業区分の主要な事業内容

テレビ放送事業: テレビ放送時間の販売、番組の販売、商品化権料収入

音楽出版事業: 音楽著作権・著作隣接権の管理事業、レコード事業、アーティストマネジメント事業等

その他事業: イベント事業、ビデオ・DVD販売、出版、出資映画事業、ショッピング事業及び放送用機器等の販売等

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	テレビ放送事業	音楽出版事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	95,042	3,394	14,100	112,537	—	112,537
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,633	72	2,749	4,455	(4,455)	—
計	96,675	3,466	16,850	116,992	(4,455)	112,537
営業利益	△124	403	1,529	1,807	(18)	1,788

(注)1. 事業区分は売上集計区分によっております。

2. 各事業区分の主要な事業内容

テレビ放送事業: テレビ放送時間の販売、番組の販売、商品化権料収入

音楽出版事業: 音楽著作権・著作隣接権の管理事業、レコード事業、アーティストマネジメント事業等

その他事業: イベント事業、ビデオ・DVD販売、出版、出資映画事業、ショッピング事業及び放送用機器等の販売等

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

平成22年3月期第2四半期経営成績等(個別)の概況(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	100,962	△ 8.8	161	△ 64.4	1,735	△ 7.6	1,212	111.0
21年3月期第2四半期	110,668	—	454	—	1,877	—	574	—

	総資産	純資産
	百万円	百万円
22年3月期第2四半期	281,412	216,520
21年3月期	285,806	215,628

売上高(個別)の内訳

	21年3月期第2四半期	22年3月期第2四半期
	百万円	百万円
タイム収入	48,042	41,511
スポット収入	44,066	39,523
番組販売収入	6,174	6,138
その他収入	818	868
その他事業収入	11,566	12,919
売上高合計	110,668	100,962

平成22年3月期 第2四半期決算短信補足資料

1. 連結損益計算書

(単位：百万円)

	21年3月期第2四半期	22年3月期第2四半期	前年同期比	
			△	△
売上高	125,140	112,537	△ 12,602	△ 10.1%
タイム収入	47,707	41,029	△ 6,677	△ 14.0%
スポット収入	43,852	39,449	△ 4,402	△ 10.0%
番組販売収入	5,870	5,861	△ 8	△ 0.1%
その他収入	8,891	8,701	△ 190	△ 2.1%
音楽出版収入	5,773	3,394	△ 2,379	△ 41.2%
その他事業収入	13,044	14,100	1,055	8.1%
営業費用	122,370	110,748	△ 11,621	△ 9.5%
営業利益	2,770	1,788	△ 981	△ 35.4%
売上高営業利益率	2.2%	1.6%	△ 0.6%	
営業外収益	1,272	1,258	△ 14	△ 1.1%
(うち持分法による投資利益)	(372)	(314)	(△ 58)	(△ 15.7%)
営業外費用	121	111	△ 9	△ 7.7%
経常利益	3,921	2,935	△ 985	△ 25.1%
売上高経常利益率	3.1%	2.6%	△ 0.5%	
特別損失	1,166	—	△ 1,166	—
(うち投資有価証券評価損)	(1,166)	(—)	(△ 1,166)	(—)
税金等調整前四半期純利益	2,755	2,935	180	6.6%
法人税等	1,213	1,367	154	12.7%
少数株主利益	225	472	247	109.9%
四半期純利益	1,316	1,095	△ 221	△ 16.8%

2. セグメント情報

(単位：百万円)

	21年3月期第2四半期	22年3月期第2四半期	前年同期比	
			△	△
テレビ放送事業				
売上高	107,874	96,675	△ 11,198	△ 10.4%
タイム収入	48,041	41,367	△ 6,673	△ 13.9%
スポット収入	44,040	39,491	△ 4,548	△ 10.3%
番組販売収入	6,170	6,136	△ 34	△ 0.6%
その他収入	9,622	9,680	58	0.6%
営業費用	107,573	96,800	△ 10,772	△ 10.0%
営業利益	301	△ 124	△ 426	—
音楽出版事業				
売上高	5,859	3,466	△ 2,392	△ 40.8%
営業費用	4,733	3,063	△ 1,670	△ 35.3%
営業利益	1,125	403	△ 722	△ 64.1%
その他事業				
売上高	16,151	16,850	699	4.3%
営業費用	14,765	15,321	555	3.8%
営業利益	1,385	1,529	143	10.3%
消去又は全社				
売上高	△ 4,745	△ 4,455	289	△ 6.1%
営業費用	△ 4,702	△ 4,436	265	△ 5.7%
営業利益	△ 43	△ 18	24	△ 55.9%
合計				
売上高	125,140	112,537	△ 12,602	△ 10.1%
営業費用	122,370	110,748	△ 11,621	△ 9.5%
営業利益	2,770	1,788	△ 981	△ 35.4%

「その他事業」セグメント 売上高の明細

(単位：百万円)

	21年3月期第2四半期	22年3月期第2四半期	前年同期比	
			△	△
ショッピング事業収入	3,450	4,560	1,109	32.2%
イベント事業収入	2,605	2,870	265	10.2%
インターネット関連収入	1,038	1,355	316	30.5%
ビデオ・DVD販売収入	1,202	1,199	△ 3	△ 0.3%
CS事業収入	1,089	1,153	63	5.9%
出資映画事業収入	1,299	1,077	△ 221	△ 17.1%
その他	5,464	4,633	△ 831	△ 15.2%
合計	16,151	16,850	699	4.3%